基本的なデバイス管理

この章の内容は、次のとおりです。

- 基本的なデバイス管理に関する情報，1 ページ
- 基本的なデバイス管理のライセンス要件，2 ページ
- デバイスのホスト名の変更，3 ページ
- MOTD バナーの設定，4 ページ
- タイム ゾーンの設定，5 ページ
- 夏時間の設定，6 ページ
- デバイス クロックの手動設定，7 ページ
- Clock Manager の設定，8 ページ
- ユーザの管理，9 ページ
- デバイス コンフィギュレーションの確認，10 ページ
- 基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定，11 ページ
- 基本的なデバイス管理に関する追加情報，11 ページ

基本的なデバイス管理に関する情報

ここでは、基本的なデバイス管理について説明します。

デバイスのホスト名

コマンド プロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト（switch）から別の文字列に変更できます。 デバイスに一意のホスト名を指定すると、コマンドライン インターフェイス（CLI）のプロンプトからデバイスを容易に識別できるようになります。

Message-of-the-Day バナー

Message-of-The-Day（MOTD）バナーは、デバイスのユーザ ログイン プロンプトの前に表示されます。 このメッセージには、デバイスのユーザに表示する情報を含めることができます。

デバイス クロック

NTPクロック ソースなど、有効な外部のタイミング メカニズムを使用してデバイスの時刻を同期させない場合は、デバイスの起動時にクロックの時刻を手動で設定できます。

Clock Manager

Cisco Nexus シャーシには、同期化する必要のある異なるタイプのクロックを搭載することができます。 これらのクロックはさまざまなコンポーネント（スーパーバイザ、LC プロセッサ、ラインカードなど）の一部であり、それぞれ異なるプロトコルを使用している可能性があります。

Clock Manager は、これらの異なるクロックを同期するための方法を提供します。

タイム ゾーンと夏時間

デバイスのタイム ゾーンと夏時間を設定できます。 これらの値により、クロックの時刻が協定世界時（UTC）からオフセットされます。 UTC は、国際原子時（TAI）をベースにしており、うるう秒を定期的に追加することで地球の自転の遅れを補償しています。 UTCは、以前はグリニッジ標準時（GMT）と呼ばれていました。

ユーザ セッション

デバイス上のアクティブなユーザ セッションを表示できます。 また、ユーザ セッションにメッセージを送信することもできます。 ユーザ セッションおよびアカウントの管理の詳細については、ご使用のデバイスの『Cisco Nexus Security Configuration Guide』を参照してください。

基本的なデバイス管理のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	基本的なデバイス管理にはライセンスは不要です。 ライセンス パッケージに含まれていない機能はすべてCisco NX-OS システム イメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。 Cisco NX-OS のライセンス方式の詳細については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』を参照してください。

デバイスのホスト名の変更

コマンド プロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト（switch）から別の文字列に変更できます。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. {**hostname** | **switchname**} *name*
3. **exit**
4. （任意） **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	{**hostname**	**switchname**} *name*
		
		例：
		hostname コマンドの使用：
		`switch(config)# hostname Engineering1`
		`Engineering1(config)#`
		switchname コマンドの使用：
		`Engineering1(config)# switchname Engineering2`
		`Engineering2(config)#`
			デバイスのホスト名を変更します。 *name* 引数には、大文字と小文字を区別して、最大 32 文字の英数字で値を指定します。 デフォルトは switch です。
			（注） **switchname** コマンドは、**hostname** コマンドと同じ機能を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 3	**exit**
	
	例：
	`Engineering2(config)# exit`
	`Engineering2#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

ステップ 4	**copy running-config startup-config** 例： `Engineering2# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

MOTD バナーの設定

ユーザがログインしたときに端末にログインプロンプトの前に表示されるようにMOTDを設定できます。 MOTD バナーには次の特性があります。

- 1 行当たり最大 80 文字
- 最大 40 行

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **banner motd** *delimiting-character message delimiting-character*
3. **exit**
4. （任意） **show banner motd**
5. （任意） **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 2	**banner motd** *delimiting-character message delimiting-character*
	
	例：
	`switch(config)# banner motd #Welcome to the Switch#`
	`switch(config)#`
		MOTD バナーを設定します。 *message* テキスト内では *delimiting-character* を使用しないでください。
		（注） デリミタとして"および%は使用しないでください。

ステップ 3	**exit**
	
	例：
	`switch(config)# exit`
	`switch#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

ステップ 4	**show banner motd** 例： `switch# show banner motd`	（任意） 設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

タイム ゾーンの設定

デバイス クロックの時刻を UTC からオフセットするようにタイムゾーンを設定できます。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **clock timezone** *zone-name offset-hours offset-minutes*
3. **exit**
4. （任意） **show clock**
5. （任意） **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**clock timezone** *zone-name offset-hours offset-minutes* 例： `switch(config)# clock timezone EST -5 0`	タイムゾーンを設定します。 *zone name* 引数は、タイムゾーンの略語を示す 3 文字の文字列（PST や EST など）です。 *offset-hours* 引数は UTC からのオフセットであり、その範囲は -23 ～ 23 時間です。 *offset-minutes* 引数の範囲は 0 ～ 59 分です。

ステップ 3	**exit**
	
	例：
	`switch(config)# exit`
	`switch#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

ステップ 4	**show clock** 例： `switch# show clock`	（任意） 時刻とタイムゾーンを表示します。
ステップ 5	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

夏時間の設定

デバイスで夏時間を有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **clock summer-time** *zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes*
3. **exit**
4. （任意） **show clock detail**
5. （任意） **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**clock summer-time** *zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes* 例： `switch(config)# clock summer-time PDT 1 Sunday March 02:00 1 Sunday November 02:00 60`	夏時間を設定します。 *zone-name* 引数は、タイムゾーンの略語（PST、EST など）である 3 文字のストリングです。 *start-day* および *end-day* 引数の値は、**Monday**、**Tuesday**、**Wednesday**、**Thursday**、**Friday**、**Saturday**、および **Sunday** です。 *start-month* および *end-month* 引数の値は、**January**、**February**、**March**、**April**、**May**、**June**、**July**、**August**、**September**、**October**、**November**、および **December** です。 *start-time* および *end-time* 引数の値は、*hh*:*mm* フォーマットです。 *offset-minutes* 引数の範囲は、0 ～ 1440 分です。

ステップ 3	**exit**
	
	例：
	`switch(config)# exit`
	`switch#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

ステップ 4	**show clock detail** 例： `switch(config)# show clock detail`	（任意） 設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

デバイス クロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合は、クロックを手動で設定できます。

はじめる前に

タイムゾーンを設定します。

手順の概要

1. **clock set** *time day month year*
2. （任意） **show clock**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**clock set** *time day month year*
	
	例：
	`switch# clock set 15:00:00 30 May 2008`
	`Fri May 30 15:14:00 PDT 2008`
		デバイス クロックを設定します。
		time 引数の形式は、*hh*:*mm*:*ss* です。
		day 引数の範囲は 1 ～ 31 です。
		month 引数の値は、**January**、**February**、**March**、**April**、**May**、**June**、**July**、**August**、**September**、**October**、**November**、および **December** です。
		year 引数の範囲は 2000 ～ 2030 です。

ステップ 2	**show clock** 例： `switch(config)# show clock`	（任意） 現在のクロック値を表示します。

関連トピック

タイム ゾーンの設定, （5 ページ）

Clock Manager の設定

Cisco Nexus シャーシのコンポーネントのすべてのクロックを同期するように、Clock Manager を設定できます。

手順の概要

1. **clock protocol** *protocol* **vdc** *vdc-num*
2. （任意） **show run clock_manager**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**clock protocol** *protocol* **vdc** *vdc-num* 例： `#clock protocol ptp vdc 2`	Clock Manager を設定します。 *protocol* 引数の値は **ptp**、**ntp**、および **none** です。 次に、値について説明します。 • **ptp**：IEEE 1588 で説明されているように、Precision Time Protocol（PTP）を使用してクロックを同期させます。 • **ntp**：ネットワーク タイム プロトコル（NTP）を使用してクロックを同期させます。 • **none**：「clock set <HH:MM:SS>」を使用して、SUP クロックを設定します。 （注） **none** を使用する場合は、指定された VDC でクロックを設定する必要があります。 （注） プロトコルが設定されると、指定した VDC のクロックでそのプロトコルを使用します。 たとえば、「clock protocol ptp vdc 2」というコマンドを入力すると、VDC 2 で PTP が設定されます。 *vdc* 引数の範囲は、1 ～ 8 です。
ステップ 2	**show run clock_manager** 例： `#show run clock_manager`	（任意） Clock Manager の設定を表示します。

ユーザの管理

デバイスにログインしているユーザに関する情報を表示し、これらのユーザにメッセージを送信できます。

ユーザ セッションに関する情報の表示

デバイス上のユーザ セッションに関する情報を表示できます。

手順の概要

1. **show users**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**show users** 例： `switch# show users`	ユーザ セッションを表示します。

ユーザへのメッセージ送信

デバイスの CLI を現在使用しているアクティブなユーザに、メッセージを送信できます。

手順の概要

1. （任意） **show users**
2. **send** [**session** *line*] *message-text*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**show users** 例： `switch# show users`	（任意） アクティブなユーザ セッションを表示します。
ステップ 2	**send** [**session** *line*] *message-text* 例： `switch# send Reloading the device is 10 minutes!`	アクティブなユーザすべて、または特定のユーザにメッセージを送信します。 メッセージは最大 80 文字の英数字で、大文字と小文字を区別します。

デバイス コンフィギュレーションの確認

POAP を使用してデバイスのブートストラップ後の設定を確認するには、次のコマンドのいずれかを使用します。

コマンド	目的
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

コマンド	目的
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの『Cisco Nexus Command Reference』を参照してください。

基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定を示します。

表 *1*：デフォルトの基本的なデバイス パラメータ

パラメータ	デフォルト
MOTD バナーのテキスト	User Access Verification
クロックのタイムゾーン	UTC

基本的なデバイス管理に関する追加情報

基本的なデバイス管理に関連したその他の情報を見つけることができます。

基本的なデバイス管理の関連資料

関連項目	参照先
ライセンス	『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』
コマンド リファレンス	『*Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference*』『*Cisco Nexus 5500 Series Command Reference*』